

W.ミッテラー：トリッチ・トラッチ

ヨハン・シュトラウス 2 世の生誕 200 年を記念して、オーストリアの現代音楽作曲家ヴォルフガング・ミッテラーが、ウィーン・ヨハン・シュトラウス 2025 音楽祭の委嘱を受け、ヨハン・シュトラウス 2 世の有名な 19 のワルツやポルカを集めて 70 分に凝縮したもので、今回が日本初演。アンサンブル編成のほかにサウンド・エフェクトも用いられる。

「トリッチ・トラッチ」とは、当時ウィーンにあったゴシップ誌名に由来する。トラッチ (Tratsch) はドイツ語で「おしゃべり」という意味で、「トリッチ・トラッチ」と並べることで、うわさ話をおしゃべりする雰囲気や音遊び的に表わしている。当時、自身の色恋沙汰が街でうわさになっていたヨハン・シュトラウス 2 世は、うわさ話が好きなゴシップ誌や街の人々を揶揄するために「トリッチ・トラッチ・ポルカ」を書いたのだった。

編曲を行なったヴォルフガング・ミッテラーは音楽祭などで多くの賞を受賞し、世界中のオーケストラ、アンサンブル、歌劇場から作品を依頼されている。エレクトロニクス分野においても先駆者であり、オルガン奏者としても積極的に活動している。